



## ～ 自他共栄～ NO.35

2026年3月13日  
発行責任者 根岸 大智  
編集責任者 情 宣 部

# あの日を忘れない ～ 東日本大震災から15年～

2026年3月11日、東日本大震災発生から15年が経過しました。M9.0を記録する大地震と巨大津波が発生し、翌日には福島第一原発が冷却機能を消失してメルトダウンを引き起こし、広範囲に放射能汚染が広がる未曾有の大災害となりました。この災害により、死者・行方不明者・関連死は2万人を超え、多くの尊い命が奪われました。私たちは、この事実を忘れてはなりません。

当時、JR貨物労組は被災した東北本線を迂回し、日本海側のルートを経由して石油や救援物資の輸送を行ない、鉄道貨物の大量輸送の優位性や、BCP対策の重要性を証明しました。これは普段から鉄道貨物輸送の全国ネットワークを維持してきたからこそ成し遂げられた結果であり、我々はこの災害の教訓を次世代に受け継ぐ必要があります。

震災は、まだ終わっていません。福島には、原発事故による放射能汚染の影響で2011年3月11日から時が進んでいない場所があります。この震災の教訓を風化させることなく脱原発の闘いと全国ネットワーク維持にむけた取り組みを続け、真に安全で安心して暮らせる生活をつくり出していきましょう。



津波に耐えたED75-1039

# 青年部員の生活を守り、安全・安心な世の中の 実現のために運動をつくり出そう！！